

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第26回本部会議 記録

日 時／令和2年11月17日（火）

14：00～14：18

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいまから、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第26回本部会議を開催いたします。今回におきましても、前回本部会議以降の動きについては、お手元に資料を配付しておりますので、後ほどご参照願います。それでは議事に入ります。まず協議事項の1点目、今後のステージ運用及び感染防止に向けた施策について、まず総合政策部長から説明をお願いいたします。

【倉本総合政策部長】

それではまず資料1「今後のステージの運用について」をご覧ください。スライド1でございますけども、11月16日時点の道独自の警戒ステージの指標に加えまして、札幌市の数値を掲載しております。札幌市の厳しい現状を踏まえまして、「本日から11月27日まで、札幌市を対象に『ステージ4相当の強い措置』を講じる」ことを、この対策本部でご決定いただければと思っております。その下に「基本的考え方」を書いておりますが、札幌市内における感染拡大の状況を踏まえつつ、本道の人口の3分の1を占めるといった札幌市の特殊性に鑑みまして、札幌市内はもとより、北海道全域へのこれ以上の感染拡大を徹底して抑制するため、全道の警戒ステージは3を維持した中で、札幌市に限定してステージ4相当の強い措置を講じることとしたいと考えております。その判断の根拠となった感染状況につきまして、スライド2をご覧くださいと思います。はじめに「札幌市」における感染状況ですが、11月7日に警戒ステージを「3」に引上げて以降も連日3桁の新規感染者が発生し、11月12日には過去最多となる164名の感染者が確認されるなど、感染拡大が続いております。検査数もここ1週間で1.5倍に増加しており、検査数の増加が新規感染者数を押し上げている可能性もありますが、陽性率も基準である10%を超え、リンクなしの感染者も半数近くとなるなど、見えない感染の連鎖が起こっている可能性が高いと考えております。年代別割合では、30代以下がほぼ半数を占める一方、60代以上の高齢者の割合も22%に拡大している状況であります。また、集団感染の発生数も11月7日以降、18件と急増しておりますが、これまで感染拡大要因の1つと考えられておりました「接待を伴う飲食店等」は4件となる一方、医療・福祉施設などリスクの高い場面で集団感染が発生していることによりまして、病床がひっ迫し、市民に適切な医療が提供できなくなる恐れが出てきております。こうした状況を総合的に勘案しまして、札幌市においては、より幅広く行動の自粛を要請する「ステージ4相当」の強い措置を講じることとしたいと考えております。

次にスライド3でございますが、札幌市以外の状況につきまして、ステージ3への引上げ以降も各地で集団感染が新たに発生するなど、全道域での感染拡大が継続しております。検査数もここ1週間で1.9倍の増加となっております。一方、陽性率は7%を下回り、リンクなし割合も20%程度となっております。年代別割合では、30代以下が40%を下回り、60代以上の割合が28%まで拡大するなど、世代を問わず感染の広がりが見られております。集団感染の発生数は11月7日以降14件と、その前の週から約3倍となっております。飲食店が5件と最も多くなっております。感染者の行動履歴では、札幌での滞在履歴をはじめ、会食や会合などへの参加、職場内や家庭内での接触などが見られるところであります。感染者数、リンクなしの割合、陽性率などは札幌市より大幅に下回っておりますが、各地で集団感染の発生などによる感染拡大が広がっていることから、一層の行動変容と集団感染対策の強化が必要となっております。

スライド4以降は、ただ今までご説明しました内容につきまして、数値やデータを掲載しております。スライド8以降では、「札幌市」と「札幌市以外」を比較しておりますが、ほぼすべての指標で札幌市が札幌市以外を大きく超えている状況でございます。

続きまして、資料2をご覧くださいと思います。「感染拡大防止に向けた施策について」でございます。ただいまご説明いたしました、札幌市を対象としたステージ4相当の強い措置を講じることとし、11月27日までの「集中対策期間」における施策を今般改定したいと考えております。具体的には、札幌市内では、感染リスクを回避できない場合に、「不要不急の外出を控えること」及び「市外との不要不急の往来を控えること」を新たに要請するとともに、テレワークなど一層の徹底もお願いしたいと考えております。2ページであります。道内全域に対しても、感染リスクを回避できない場合に、「札幌市との不要不急の往来を控えること」及び「特に飲食の場面におけるリスク回避の徹底」を要請することとしたいと考えております。感染リスクを回避できない場合の例といたしましては、飲食の場面においては、「大人数、例えば5人以上の集まり」や「2時間を超えるような長時間の飲食」などの具体例を記載したところでございます。

次に資料3をご覧くださいと思います。今ご説明しました「今後のステージの運用」及び「感染拡大防止に向けた施策」につきましては、今般、専門家及び有識者のご意見をお伺いするとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせをしております。いただきましたご意見では、概ね、ステージの運用と施策の内容について妥当であるとのご意見が多数寄せられました。専門家及び有識者からは、「札幌市をステージ4相当として他地域と異なる強い表現とすることは妥当」、「5人以上の集まりや2時間を超えるような長時間の飲酒といった事例の表現は妥当」、「札幌市との交流による感染者が出ており、札幌との往来を控えることは必要」などのご意見が寄せられました。また、市町村、関係団体からは、新たな交付金の創設を国に要望するよう求める意見、対策強化による経済的ダメージの軽減等に配慮を求める意見、観光客の移動制限につながることをないよう配慮を求める意見やなどが寄せられたところであります。以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただ今の説明に関連いたしまして、関係の本部員からご発言をお願いいたします。まず、教育長からお願いいたします。

【小玉教育長】

教育庁です。資料はございません。ステージ3の移行後、全道的な感染の拡大に伴いまして、児童生徒等の感染事例も増えております。その多くは児童生徒の同居家族からの感染でございますが、散発的に学校関係の集団感染も発生しております。このため、道教委では今回の道の対策を受けまして、「学校」「登下校」「家庭」の3つの場面に応じまして、感染予防対策の強化を学校等に通知いたします。これまでの感染事例からわかったことを踏まえまして、「学校」におきましては、風邪症状がある場合の登校、昼食時の会話などを控えていただくとともに、寒さ厳しくなる折、効率的な換気対策を実施していただきます。「登下校」に際しては、寄り道をしない、通勤時間を避けることなど、「家庭」におきましては、同居家族の健康観察、手洗い、マスク等、衛生管理を改めて徹底することなどがございます。あわせて、濃厚接触者の広がりから休業措置を講じざるを得ない場合に備えまして、オンライン学習の導入など、学びの保障に係る機器の貸し出しなど、必要なバックアップを行ってまいります。以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

続きまして総務部長からお願いします。

【平野総務部長】

総務部から3点ご報告します。はじめに私立学校への対応についてですが、道教委と同様、風邪症状がある場合の登校や、昼食時の会話に注意を払うなど、感染予防対策の強化について通知をする他、専修学校、各種学校につきましては、飲食時における留意事項をはじめ、集中対策期間中の取組について、学生一人ひとりに行きわたるよう協力をお願いしてまいります。次に道立施設についてですが、事業者の方々に対する感染防止対策の再確認と徹底をお願いをいたします。最後に道職員に対してですが、道職員が率先して北海道スタイルの実践をしっかりと行うこと、そして札幌市内の所属では、職員を3分の1に分けた時差出勤を徹底するとともに、リモートアクセス端末などを活用し、在宅勤務について更に推進してください。また、感染リスクを回避できない場合、札幌市内に住んでいる職員は、不要不急の外出を控えること、札幌市以外の職員については札幌市との往来を控えてください。飲食の場面では5人以上や長時間の飲食は行わないなど、リスク回避についても徹底をしてください。以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

続きまして、観光振興監、お願いします。

【大内観光振興監】

GoToキャンペーンに関してでございます。GoToトラベルにつきましては、旅行する際も、新しい旅のエチケットを再確認していただくとともに、その遵守をお願いしたいと考えております。特に体調の悪い場合については旅行しないですとか、飲食の場合では、旅館・ホテルでお食事をとる場合には、しっかりと対策がとられておりますが、外で食事をとる場合については、北海道スタイルを遵守している店を選ぶなど、対策をお願いしたいと考えております。更に、国に対しまして、感染拡大防止策について、事業者に対する指導の徹底や、旅行に対する周知について要請してまいります。以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

続きまして、経済部お願いします。

【渡邊経済部次長】

GoToイートキャンペーン事業につきましては、農林水産省や本事業の事務局である北海道商工会議所連合会が連携し、北海道スタイルの取組の実践など、事業参加する飲食店での感染対策を徹底してきました。現下の感染拡大を受け、これまで求められてきた感染防止対策に加えて、5人以上となるような大人数での利用、それから2時間を超えるような長時間の飲食を避けていただくことなどを、利用者に周知徹底いただくよう、強く求めていくこととしております。本部員の皆様におかれましても、対策の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いしたいと思います。以上です。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいま総合政策部長から、また関係の本部員から補足説明のございました内容のとおり、今後のステージ運用及び感染拡大防止に向けた施策について、決定することといたしたいと思っておりますが、よろしいですか。それでは、ただいま説明がありましたとおり、本部として決定をさせていただきます。

続きまして、議題の協議事項の2点目です。イベント等の開催制限について、これについて、まず総合政策部長からお願いいたします。

【倉本総合政策部長】

資料4をご覧ください。先週11月12日になりますが、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が開催されまして、イベント等の人数上限と収容率については、当面2月末まで、原則として現在の取扱いを維持することが決定されました。道といたしましても、感染拡大が続いている厳しい状況に鑑み、この度の政府の決定を踏まえ、12月1日以降も、イベントの類型に応じた利用人数の上限値と、その収容率を維持したいと考えております。現在の取扱いからの変更点といたしましては、これまで、「食事を伴う催物、イベント等」は、収容率を50%以内としてきましたが、必要な感染防止対策が担保され、映画館等イベント中の発声がない場合に限り、収容率要件を100%以内とすることといたしたいと思っております。

また、これまで、全国的・広域的なお祭り、野外フェス等を開催する場合については、

「十分な人と人との間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に判断する」とされておりましたが、必要な感染防止策に加え、資料の2枚目に示しております、身体的距離の確保をはじめとした、具体的な条件がすべて担保される場合には、開催が可能であると明確化をしたいと思っております。最後に、イベントの取扱いと併せてでございますが、イベントに限らず、冬季における感染拡大を防止する観点から、国から「寒冷な場面における新型コロナ感染防止等のポイント」が示されたので、こちらの活用及び周知もお願いしたいと思います。私からは以上です。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいま説明のありました、イベント等の開催制限について、ただいま説明のありましたとおり、当本部として決定することとしたいと思っておりますが、よろしいですか。それでは、そのように決定させていただきます。

その他、各部、各振興局から何かご発言などありますでしょうか。よろしいですか。そうしましたらここで本部長からお願いをいたします。

【本部長（知事）】

道内においては、11月7日に、警戒ステージを「3」に引き上げまして、すすきの地区における営業時間の短縮という強い要請を行うなど、感染拡大防止対策に取り組んでいるところであります。今後、こうした取組の効果が現れてくると考えているわけではありますが、積極的な検査の実施や集団感染の発生などによりまして、11月以降、新規感染者は、1週間で倍増するなど急速に拡大し、札幌市を中心に医療提供体制のひっ迫の度合いが急速に増していることに、危機感をもって対応していかなければなりません。こうした厳しい状況を踏まえ、本日から11月27日までの集中対策期間において、札幌市においてステージ4相当の対策を行うことといたします。感染リスクを回避できない場合には、「不要不急の外出」及び札幌市外への「不要不急の往来」を控えていただくといった、更なる行動変容の要請を行います。この11月中に、何としても感染拡大をくい止めていくためには、集中対策期間の折り返しとなるこれからの取組が極めて重要であります。この度の追加対策の実効性を高めていくためにも本部員が一丸となって、取り組んでいかなければなりません。

特に、この度の要請でありますがお一人お一人の行動が大変重要であります。道民の皆さんのご理解とご協力が重要であります。本部員におかれては、まずは、時差通勤、テレワークの更なる推進、庁内外の会議や行事のあり方の検討などを含め、道庁が率先した行動をとり、その上で様々なネットワークを活用して、道民の皆様、道内にお越しになる皆様にご協力いただけるよう、周知や啓発に積極的に取り組むよう指示いたします。また、地方本部員におかれては、市町村はもとより、関係団体や企業等と連携を一層強化し、地域の実情を踏まえた効果的な施策を展開するように指示いたします。

集中対策期間の残りの期間、最大限の危機感を持ち、総力を挙げて感染拡大防止に取り組んでほしいと思っております。以上指示いたします。

【副本部長（中野副知事）】

それでは、各本部員におかれましては、ただいま本部長から指示のありました内容について、早急な対応をお願いいたします。それでは以上をもちまして第26回本部会議を終了いたします。

（了）